



鳥商

P T A 会報

発行
鳥取商業高等学校
鳥商PTA広報部
令和3年8月20日

ごあいさつ

PTA会長 田淵 稔康



令和三年度のPTA会長を務めさせて頂きます。田淵と申します。微力ではありますが、精一杯がんばります。どうぞよろしくお願い致します。

鳥商は、私自身の母校であり、長男も卒業し、現在長女が在学中にあり私の家は文字通り鳥商一家です。

さて、五月八日にコロナ禍の中、県民文化会館梨花ホールにて創立

2年ぶりの文化祭開催



去る七月十四日、昨年度はコロナ禍の影響で開催できなかった文化祭が二年ぶりに梨花ホールで行われた。【詳細は五ページ】

百十周年記念式典が一年遅れではありますが無事開催されました。この素晴らしい歴史を持つ鳥商においてPTAの意義、在り方を改めて認識するとともに、未来永劫に繋げるため「情熱」を持って力の限り運営して参る所存です。そして私の考えでもある「一人一役全員主役」を掲げ、見通しが良く、なんでも意見が言え、一人も欠けることのないチーム「鳥商PTA」をつくり上げたいと思います。

コロナ禍の中、今まで「あたり前」に開催されていた行事や各種大会等がごとごとく中止となり、日常生活さえも今までは変えざるを得ない世の中になっていきます。「あたり前」の反対語は「ありがとう」だと言われています。五月に鳥商でクラスターが発生、約二週間休校となりました。生徒たちは今まであたり前に学校生活を送ってきたことを改めて考える機会になったのではないのでしょうか。そして家庭や学校生活の「有難さ」に気づき「感謝」したのではないのでしょうか。これらのことをきっかけに鳥商生はますます「素敵な生徒」に成長してくれることでしょうか。

PTA活動とは、このような「素敵な生徒」と同じ時間を共有し、日々成長していく子どもたちの未来のための「架け橋」になることではないでしょうか。保護者間、あ

るいは保護者と先生が連携をはかり、人生の先輩としてアドバイスをおくることのできるそのようなPTAにしていきましょう。今後、強歩大会、講演会、鳥商デパートなどたくさん行事が予定されています。保護者の皆様からさまざまなご意見をうかがいながら、それらの行事にも積極的にPTA活動を運営していきたいと思っております。皆様方もぜひ子どもたちと同じ時間を共有し、サポートする立場で学校行事に参加していただきますと幸いです。

最後に、一年間鳥商PTAをどうぞよろしくお願い致します。

鳥商教育の新しい形を求めて

校長 岩田 直樹



国との経済関係、教育関係の答申に目を通すと、「第四次産業革命」や「Society 5.0」といった小難しい言葉が並んでいます。

要は、急激に変化する予測困難な時代が到来しており、その中で方向性を見いださなければならぬ、ということのようです。しかし、先行きが不透明なのは今に始まったことではありません。いつの時代でも手探りで進んできました。

今後、鳥商はどのような道を歩めばよいのでしょうか。二〇三〇年（創立一二〇周年）の鳥商教育の形はどうなるのでしょうか。

中央教育審議会や文部科学省が提唱する「令和の日本型学校教育」のキーワードは「個的最適な学び」と「協働的な学び」です。それらの実現のために、鳥商はすでに二つの取り組みを始めています。

第一に、今年度入学生から導入した単位制教育課程です。全日制商業高校では全国三番目となります。来春開始の新学期指導要領（基本理念は「主体的対話的で深い学び」）に一年先んじて導入したのは、時代の変化に少しでも早く対応するためです。単位制の長所の一つに、よりきめ細かい進路志向に対応可能な点があります。一例として、鳥商独自の教科横断型科目として、商業科＋地歴公民科＋経済入門（二年次）、商業科＋英語科「グローバル・ビジネス」（三年次）など、全国に類のない科目を設定します。

第二に、グローバル人材の育成のための米国バーモント州エセックス高校（EHS）との交流です。コロナ前の計画では、昨年十一月のEHS訪問を皮切りに、春の来鳥、秋の訪米」をセットにした本格交流を進めるはずでした。リアル交流がかなわず、十二月から月一回のオンライン交流を試みています。現在まで鳥商生約二十名が参加する七回の交流を実施しました。将来的には、より多くの生徒が参加できる体制を構築したいと思っています。

創立110周年記念式典の様子



吹奏楽記念演奏



学校長式辞

想です。鳥商は県東部地区のモデル校として、一人一台端末（新入生より年次進行）によるICT教育推進校となつていきます。

次の十年を見据え、新しい鳥商教育の形を創っていくためには、立ち止まることはできません。現状維持は退歩につながります。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

※グローバルとローカルを掛け合わせた造語